平成１３年度当初予算　基本事務事業目的評価表

基本事務事業名]　歴史文化の継承と活用（５０１）
評価年月日]　平成１２年１１月１３日
主担当部課名]　生活部文化課
記入課名・課長名・電話]　文化課長・吉川　新・059-224-2496

1　総合計画の政策体系上の位置づけ
政策　：（Ｉ－３）文化・スポーツの振興
施策　：（１）人と地域を支える文化の振興
総合計画の目標項目　：まちかど博物館・ミュージアムの設置数、先人の調査・顕彰、県史編さん事業、「俳句のくに・三重」の創造

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策　：地域特性を活かした生産振興と安心で効率的な流通体制の確立、集客交流産業の振興、県域を越えた交流・連携の推進、みえ歴史街道構想の推進、生涯学習の推進

2　基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）
・物質的な充実から豊かな心の充実への意識の変革、地域のコミュニケーションを新たに築こうとするなど、県民の価値観の多様化
・週休二日制の実施にともなう余暇時間の増大
・経済不況による県収入低下にともなう財源不足

3　基本事務事業の目的と成果
3-(1) 対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）
各地域で埋もれがちな文化資産を県民共通の財産として次世代への継承を図るとともに、その活用を促進する。

3-(2) 成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）
歴史文化資産の活用度

$$\frac{\text{活用されている歴史文化資産の数}}{\text{県内の歴史文化資産の数}}$$

（代替指標）まちかど博物館・ミュージアム増加率

$$\frac{\text{当該年度末の博物館数}}{\text{平成 8 年度末の博物館数}}$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）
地域の特色ある資源を活用した地域文化づくりの進展度合いを示す代表的な指標としてまちか博物館・ミュージアム増加率を設定した。

3-(4) 結果（施策における2010年度の目標）
まちかど博物館・ミュージアム設置数　１５０館

4　基本事務事業の評価

4-(1) 前年度（H11年度）における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

・県史編纂作業を実施した。
・全国俳句募集事業を行い、205,295 句の応募があった。
・小学校高学年を対象として俳句副読本の活用を図った。
・巡回俳句教室を実施し、多くの県民に俳句を作る楽しさを実感していただく機会とした。

②前年度に残った課題

・俳句を活用した人づくりを推進するための方策が未着手となっている。
・まちかど博物館構想のため「伊賀まちかど博物館」を立ち上げたが、今後、これを活用した取り組み方策を検討する必要がある。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

・俳句募集事業について、学校単位での取り組みを推進するため、一般募集に先駆け学校募集を実施した。
・まちかど博物館の設立に向け、津・久居地域及び東紀州地域の２地域で取り組んだ。
・平成１３年度に没後２００年を向かえる本居宣長及び松阪市の歴史などを顕彰し、その魅力を全国に情報発信するため、プレイベントを開催した。
・県史編さん事業について、資料編「現代３」と別編「建築」の２冊を刊行した。

②本年度残ると思われる課題

・学校現場等において俳句を専門的に楽しく教えられる人材の確保とともに、その活用方策について検討を行い、俳句を活かした人づくりの実現に向けた取り組みが必要である。
・本居宣長没後２００年の記念イベントの開催に向け､地域と一体となった取り組みが必要である。

5　基本事務事業の改革方向

「俳句のくに・三重」創造事業のうち、全国俳句募集事業については民間団体等への移管を視野に入れた事業展開を図る。また、２００４年（平成１６年）の芭蕉生誕３６０年を視野に入れた取り組みを行うとともに、平成 13 年度が本居宣長没後２００年の記念年にあたることから、記念イベントを開催する。

6　成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値 目標	成果指標値 実績	総合計画 目標数値	予算額等（千円） 所要時間（時間）	必要概算 コスト（千円）
前々年度 (H10年度)	―	―	106	156,382 / 17,480	229,449
前年度 (H11年度)	110/94 1.17	197/94 2.10	106	125,348 / 25,580	232,273
本年度 (H12年度)	256/94 2.72	362/94 3.85	110	118,215 / 25,840	226,485
本年度補正後 (H12年度)	256/94 2.72	362/94 3.85	110	+2,588 / 0	+2,588
翌年度 (H13年度)	422/94 4.49	―――	114	176,514 / 33,640	317,466
計画目標年次 (H13年度)	422/94 4.49	―――	114	―――	―――

7　翌年度(H12年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト：　☆５億円以上　◎～１億円　◇～５千万　△～１千万　・１千万未満　＊休止・廃止〉

※　各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8　基本事務事業を構成する事務事業の詳細
※　新規事務事業には、事務事業名に 新）を付す

事務事業名 担当課）	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 （千円）	予算額 前年度比 （±千円）	13年度 所要時間 （時間）	所要時間 前年度比 （±時間）
歴史文化（公文書）保存事業費 （文化課）	公文書保存適正度	歴史的、文化的資料として価値のある公文書等を保存し、公文書館の必要性を検討する。	7,665	0	200	0
県史編さん刊行費 （文化課）	県史刊行度	県内外に所在する県史関係資料を調査・収集し、専門委員等の協力を得て体系化、解説を加え「三重県史」を印刷刊行。	67,552	5,196	7,000	0
資料収集整備費 （文化課）	資料収集度	県内外に所在する県史関係資料を調査・収集し、分類等の整備を行い、県民共有の文化遺産として後世に引き継ぐ。	12,788	－ 1,684	6,540	0
俳句のくに・三重創造事業費 （文化課）	募集目標句数達成度	「俳聖」松尾芭蕉を輩出した三重を俳句募集等を通じて全国及び世界に情報発信することにより、三重のｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟを図り、心豊かな人づくり、俳句を活かした地域づくりに資する	15,325	－ 3,120	8,000	－ 400
俳句を活かしたまちづくり事業費 （文化課）	地域づくり参画度	俳句をとおして個性ある、魅力あふれる地域づくりを行うために有識者会議や俳句を活かしたまちづくりの先進地との交流会を実施する。	1,784	－ 560	100	0
（新）俳句を活かしたひとづくり事業費 （文化課）	俳句インストラクター活用件数	俳句の実作をとおして心豊かなひとづくりを行うことで「俳句のくにづくり」を地域に定着させるため、県内学校等への俳句インストラクターの派遣についてシステム化を図る。	2,600	2,600	400	400
三重まるごとﾐｭｰｼﾞｱﾑ推進事業費 （文化課）	まちかど博物館設立増加率	地域の文化を物語るいろいろなモノのうち、現在個人や企業の所有となっているものを「まちかど博物館」として展示・公開することで、地域の文化に触れる機会を提供していく。	5,016	－ 1,563	3,000	0
「宣長さん２００年」実施事業費 （文化課）	本居宣長の認知度	松阪が全国に誇る国文学者本居宣長の没後２００年の記念年を迎えるため、その魅力を全国に情報発信する。	40,723	35,082	5,700	5,100
（新）芭蕉生誕 360 年を契機として行うイベント(仮称)事業費 （文化課）	芭蕉の全国認知度	俳聖松尾芭蕉生誕 360 年にあたる平成 16 年度を機会に芭蕉のふるさと伊賀の持つ歴史文化や自然などの様々な魅力を全国に向けて情報発信するために、イベントを実施する。	23,061	23,061	2,700	0